

# 平成30年度 当初予算要求の概要

局・区名

建設局

要求総額

34,250

百万円

(対前年度予算 + 14.3 %)

## 局区予算要求方針

大災害への備えや安定した都市基盤の維持管理など、市民の皆さんの生命・財産を守るための対策が強く求められています。そのため、「堺市公共施設等総合管理計画」に基づき、効果的かつ効率的な維持管理を進める経費のほか、堺市の更なる発展のため中心市街地の活性化に資する事業についても予算要求していきます。また、道路空間や公園用地等の利活用に加え、既存事業の歳出見直しを進める等、財源確保やコスト削減に努めます。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

## 重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

### 1 都市インフラの計画的・効率的な維持管理について

要求額

- 橋りょう耐震強化事業（重要橋りょう以外の耐震化分） 287 百万円

取組内容 現在取り組んでいる重要橋りょう150橋の耐震化完了に併せて、その他の橋りょう（横断歩道橋を含む）についても、計画的に耐震化を進め、堺市内の全橋りょうの落橋を防止し市民の安全・安心を更に確保していく。平成30年度は重要橋りょう耐震化に加え、新たにその他橋りょう20橋の詳細設計を行う。

- ◎ 道路附属物（案内標識・道路照明灯）更新事業 160 百万円

取組内容 堺市公共施設等総合管理計画に基づき、道路施設の維持管理を計画的に進めている。道路照明灯等の道路附属物について、定期点検の結果、早期措置段階と判定された約400基を計画的に建替える。平成30年度は、道路照明灯100基と案内標識10基の建替えを実施する。

- 公園施設管理事業（公園維持管理計画策定） 280 百万円

取組内容 老朽化した橋やトイレ等を含む公園施設を適切に維持管理していくため、持続可能かつ効率的・効果的な公園施設維持管理計画を策定し、今後10年間で必要な費用の平準化及びコスト削減をめざす。

### 2 中心市街地の活性化に資する施策の推進について

- 南海高野線連続立体交差事業 290 百万円

取組内容 堺東駅周辺の南海高野線連続立体交差事業を推進することで、交通渋滞の解消はもとより、政令指定都市の玄関口にふさわしい市街地の形成につなげるとともに、市全域の発展にも寄与するものである。平成30年度は事業再評価を行い、環境影響評価手続きに着手し、鉄道及び側道等の概略設計を進める。

- 自転車等駐車場設置事業 255 百万円

取組内容 堺東駅周辺の放置自転車の解消と自転車利用者の利便性の向上を図るため、駅前に機械式自転車駐輪場を設置し、老朽化した瓦町公園地下駐輪場に入出口新設などの改修を行い、堺市の玄関口で自転車のまちをPRするとともに、中心市街地の活性化を図る。また、中百舌鳥駅前等の駐輪場整備も行う。

## 行財政改革の項目

### 1 道路空間の有効活用

効果額

- 道路法の占用入札制度の活用 6 百万円

取組内容 平成29年度から10年間、府道の高架橋高架下において占用料の金額による入札によって決定した駐車場運営事業者から占用料を徴収し、歳入の確保を行う

### 2 歳出の抑制

- コミュニティサイクル管理運営委託料の削減 5 百万円

取組内容 平成29年度より、百舌鳥駅前サイクルポートの管理人業務を併設する百舌鳥駐輪場管理人業務に移行・統合し、サイクルポートの管理人常駐時間を段階的に削減した。平成29年度10月よりサイクルポートの管理人業務は完全に廃止。